



## 2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社FHTホールディングス  
 コード番号 3777 URL <http://www.fht-hd.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 楊 暁軍  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画管理本部長 (氏名) 森蔭 政幸

TEL 03-6261-0081

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	278	10.4	155		158		108	
2019年12月期第3四半期	311	82.8	152		210		213	

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 139百万円 ( %) 2019年12月期第3四半期 311百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2020年12月期第3四半期	0.78	
2019年12月期第3四半期	1.58	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年12月期第3四半期	3,625	3,161	46.8	12.25
2019年12月期	3,796	3,297	47.7	13.08

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 1,698百万円 2019年12月期 1,809百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2019年12月期		0.00		0.00	0.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

2020年12月期の連結業績予想につきましては、現段階で業績予想の適切かつ合理的な見積もりが困難であることから未定とし、記載しておりません。今後、適切かつ合理的な見積もりが可能となった時点で、速やかに開示する予定であります。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	138,690,380 株	2019年12月期	138,390,380 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	5,840 株	2019年12月期	5,660 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	138,537,937 株	2019年12月期3Q	135,747,692 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(連結の範囲の変更)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8
3. その他	9
(継続企業の前提に関する重要事象等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年1月1日～2020年9月30日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により極めて厳しい状況にあり、個人消費、生産及び輸出の減少に加え、企業収益は急速に減少し、雇用や所得環境は弱い動きとなっておりましたが、緊急事態宣言の解除に伴い、個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、下げ止まりの傾向にありました。

当社グループが属する情報サービス産業においては、日銀短観（2020年9月調査）における2020年度ソフトウェア投資計画（全規模・全産業合計）が、前年度比6.4%増となる等、企業におけるIT投資の増額により市場規模の穏やかな拡大が期待されております。

このような経済状況のなかで、当社グループは、安定した収益基盤の構築と持続的な事業の拡大を目指し、IT関連事業、環境事業、再生可能エネルギー事業、ヘルスケア事業の効率化を図り収益力の改善・強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高278,724千円（前年同四半期比10.4%減）となり、営業損失155,543千円（前年同四半期は営業損失152,861千円）、経常損失158,381千円（前年同四半期は経常損失210,059千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失108,921千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失213,911千円）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

#### (IT関連事業)

IT関連事業では、Webアプリケーションの開発及び安定運用を実現するためのソフトウェアであるZend製品やWebシステムに欠かすことのできないデータベース製品を中心に、ソリューション及びサポートを提供しております。当第3四半期連結累計期間におきましても引き続き既存製品の機能強化や協業企業との連携による付加価値向上に取り組んだものの、売上高56,604千円（前年同四半期比36.0%減）、セグメント利益17,856千円（前年同四半期比5.3%減）と前年同期を下回る結果となりました。

#### (環境事業)

環境事業では、マンション管理やオフィスビル等の管理、清掃、メンテナンス業務を中心に事業を行っております。当第3四半期連結累計期間におきましては、既存顧客への迅速な対応や高品質なサービスの提供により安定した顧客の確保、また、積極的な営業活動による新規案件の受注等により、売上高69,857千円（前年同四半期比2.3%増）と若干上回ったものの、人件費などの経費が増加し、セグメント損失687千円（前年同四半期はセグメント利益1,294千円）と、前年同期を下回る結果となりました。

#### (再生可能エネルギー事業)

再生可能エネルギー事業では、発電所の開発及びその代行、第三者への売却並びに売電事業等を行っております。当第3四半期連結累計期間におきましては太陽光発電所の売電収入により売上高150,869千円（前年同四半期比2.2%減）、セグメント利益19,697千円（前年同四半期比64.9%減）と、前年同期を下回る結果となりました。

#### (ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業では、中国におけるヘルスケア事業に係る協業、及びビジネス支援を行っております。当社子会社である上海蓉勤健康管理有限公司の完全子会社である栖霞市东明置业有限公司（当社孫会社）が中国において養老介護に特化した富裕層向け施設の開発プロジェクトを推進しており、今後、施設販売および管理サービスの提供により売上を見込んでおります。しかしながら、すでに完成している施設について積極的な販売促進活動を行っておりますが、中国国内での新型コロナウイルス感染症拡大により企業および個人の活動が制限されていたことや本年4月以降、中国都市部において不動産価格が上昇基調となっておりますが、開発プロジェクトを推進している施設近辺の不動産価格は回復していないこと等から当初予定していた利益を想定した販売戦略に基づいた活動に苦戦し売上計上するに至っておりません。当第3四半期連結累計期間におきましては、中国上海市の復華中日健康産業センターを軸とする事業を推進している当社子会社である吉奥莱科特医疗健康科技（上海）有限公司において、3件の賃貸契約を獲得したことにより、売上高1,391千円、セグメント損失42,612千円となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産・負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ171,299千円減少し、3,625,057千円となりました。流動資産は170,604千円の減少となり、主な要因は、現金及び預金が105,153千円、受取手形及び売掛金が26,243千円、商品が109,351千円、販売用不動産が4,762千円、仕掛販売用不動産が7,814千円減少したこと等によるものであります。

総負債は、前連結会計年度末に比べ35,872千円減少し、463,300千円となりました。主な要因は、未払金が45,565千円増加したものの、買掛金が2,949千円、未払法人税等が16,629千円、前受金が10,831千円、その他流動負債が51,211千円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ135,427千円減少し、3,161,756千円となりました。主な要因は、利益剰余金が108,921千円、為替換算調整勘定が6,838千円、非支配株主持分が23,862千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染症拡大およびそれに伴う経済活動、消費活動停滞の影響等、景気の先行きに不安要素が多数見受けられ、当社グループのヘルスケア事業においては中国市場をメインターゲットとしており、現在進行中の開発プロジェクト工事について、中国政府機関の新型コロナウイルスの感染症対策の一環として、施工方法等について新型コロナウイルス対策への追加申請等が発生し工期に遅れが生じており、完工時期が未定となっております。また、新型コロナウイルス感染症の収束時期は未だ予測することができず爆発的感染が再発する可能性が排除しきれない状況であります。

このような状況下において当社は、その影響を踏まえた業績予想の合理的な算定が困難であることから、未定としております。今後、合理的に算定可能となった時点で速やかに公表いたします。今後の状況に応じ、速やかに業績回復に向けた施策を実行できるよう、当社グループ一丸となって取り組んでまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	255,261	150,108
受取手形及び売掛金	99,610	73,366
商品	290,315	180,964
販売用不動産	1,061,297	1,056,535
仕掛販売用不動産	2,101,676	2,093,862
その他	36,717	89,363
貸倒引当金	△93,125	△63,050
流動資産合計	3,751,754	3,581,149
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	—	—
工具、器具及び備品（純額）	173	133
土地	38,144	38,144
有形固定資産合計	38,318	38,278
無形固定資産		
	0	—
投資その他の資産		
長期未収入金	16,823	16,823
その他	6,283	5,683
貸倒引当金	△16,823	△16,878
投資その他の資産合計	6,283	5,628
固定資産合計	44,602	43,907
資産合計	3,796,356	3,625,057
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,744	5,794
未払金	224,178	269,743
未払法人税等	46,522	29,892
前受金	25,620	14,789
預り金	26,276	26,460
その他	167,830	116,619
流動負債合計	499,172	463,300
負債合計	499,172	463,300
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,348,295	1,350,395
資本剰余金	1,652,074	1,654,174
利益剰余金	△1,172,451	△1,281,372
自己株式	△629	△633
株主資本合計	1,827,289	1,722,563
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△17,450	△24,289
その他の包括利益累計額合計	△17,450	△24,289
新株予約権	20,000	20,000
非支配株主持分	1,467,344	1,443,482
純資産合計	3,297,183	3,161,756
負債純資産合計	3,796,356	3,625,057

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	311,146	278,724
売上原価	185,713	208,822
売上総利益	125,433	69,901
販売費及び一般管理費	278,294	225,445
営業損失(△)	△152,861	△155,543
営業外収益		
受取利息	0	1
その他	1,600	4,129
営業外収益合計	1,601	4,131
営業外費用		
為替差損	45,128	0
開業費償却	2,687	—
支払手数料	7,981	6,806
その他	3,001	162
営業外費用合計	58,799	6,969
経常損失(△)	△210,059	△158,381
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	30,000
その他	—	3,905
特別利益合計	—	33,905
税金等調整前四半期純損失(△)	△210,059	△124,476
法人税、住民税及び事業税	8,687	1,723
法人税等合計	8,687	1,723
四半期純損失(△)	△218,746	△126,199
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,835	△17,278
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△213,911	△108,921

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△218,746	△126,199
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△92,416	△13,422
その他の包括利益合計	△92,416	△13,422
四半期包括利益	△311,163	△139,621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△306,327	△115,759
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,835	△23,862



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度に、上海蓉勤健康管理有限公司の出資比率合計50.9%（156百万元（約24億円））を当社代表取締役楊曉軍の親族から取得し、中国でのヘルスケア事業を進めておりますが、前連結会計年度は、これらの取引の影響や中国でのヘルスケア事業の不振の結果、売上高が著しく減少し、重要な営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上することになりました。また、当第3四半期連結累計期間においても、重要な親会社株主に帰属する四半期純損失を計上しております。更に中国でのヘルスケア事業は、新型コロナウイルス感染症問題の影響もあり、今後も不透明感が続くことが予想され、今後の資金繰りについても懸念が生じております。

これらの状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していません。

当社は、当該状況を解消するため、以下の対応を図ってまいります。

収益改善につきましては、コストの削減に努めると共に、中国でのヘルスケア事業の見直しも含め収益獲得を着実に実行していくことで、収益の改善を図ってまいります。また、収益獲得に繋がる新規事業への参入も検討してまいります。

今後の資金繰りの改善につきましては、上記に加え、当社グループの保有資産の早期売却や納税猶予も検討し、グループ内資金管理を徹底して、当社の資金繰りの改善を図ってまいります。更に、未行使となっている新株予約権（総額9億円）の取扱いを新株予約権者に交渉してまいります。また、必要に応じ、新たな資金調達も検討してまいります。

しかしながら、これらの対応策は、計画途上であり、各種関係者の意向にも左右されるため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映していません。

(連結の範囲の変更)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年4月14日開催の取締役会決議により、2020年5月14日付で取締役3名に対する譲渡制限付株式報酬として普通株式の発行を行い、第2四半期連結会計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ2,100千円増加しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間末において資本金が1,350,395千円、資本剰余金が1,654,174千円となっております。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報等】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	I T関連事業	環境事業	再生可能 エネルギー 事業	ヘルスケア 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	88,532	68,236	154,378	—	311,146	—	311,146
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	88,532	68,236	154,378	—	311,146	—	311,146
セグメント利益 又は損失(△)	18,856	1,294	56,259	△62,064	14,345	△167,206	△152,861

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに帰属しない全社費用が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	I T関連事業	環境事業	再生可能 エネルギー 事業	ヘルスケア 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	56,604	69,857	150,869	1,391	278,724	—	278,724
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	56,604	69,857	150,869	1,391	278,724	—	278,724
セグメント利益 又は損失(△)	17,856	△687	19,697	△42,612	△5,746	△149,797	△155,543

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに帰属しない全社費用が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

### 3. その他

(継続企業の前提に関する重要な事象等)

当社グループは、前連結会計年度に、上海蓉勤健康管理有限公司の出資比率合計50.9%（156百万元（約24億円））を当社代表取締役楊曉軍の親族から取得し、中国でのヘルスケア事業を進めておりますが、前連結会計年度は、これらの取引の影響や中国でのヘルスケア事業の不振の結果、売上高が著しく減少し、重要な営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上することになりました。また、当第3四半期連結累計期間においても、重要な親会社株主に帰属する四半期純損失を計上しております。更に中国でのヘルスケア事業は、新型コロナウイルス感染症問題の影響もあり、今後も不透明感が続くことが予想され、今後の資金繰りについても懸念が生じております。

これらの状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社は、当該状況を解消するため、以下の対応を図っております。

収益改善につきましては、コストの削減に努めると共に、中国でのヘルスケア事業の見直しも含め収益獲得を着実に実行していくことで、収益の改善を図っております。また、収益獲得に繋がる新規事業への参入も検討しております。

今後の資金繰りの改善につきましては、上記に加え、当社グループの保有資産の早期売却や納税猶予も検討し、グループ内資金管理を徹底して、当社の資金繰りの改善を図っております。更に、未行使となっている新株予約権（総額9億円）の取扱いを新株予約権者に交渉しております。また、必要に応じ、新たな資金調達も検討しております。

しかしながら、これらの対応策は、計画途上であり、各種関係者の意向にも左右されるため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。